



校長が考える学校経営の「一步先へ!」を実現する

R 5 年度 第1号
津山教育事務所 4 月

子どもたちの
笑顔・元気のために

「スタート」が大切!! 校長先生の目指している「子ども像」
「教職員像」「学校像」を職員や児童生徒に伝えましょう!

校長先生の目指しているものを知ることは、頑張っていく方向が分かったり大切にしていかなければならないことを確認できたりと職員や児童生徒にとっては羅針盤となります。併せて、『なぜ、その子ども像なのか』『なぜ、それを目指さないといけないのか』という説明が必要です。納得感と必要感をもって提示していきましょう。



新APのキーワードは『**目的と手段の明確化**』『**取組の焦点化**』



手段

目的

「**本年度の重点目標**」=どのような児童生徒
を目指す?

「**達成指標**」=どうなれば重点目標達成?

「**中間期(年度末)の値**」=目的の達成度

「**重点取組**」=目的達成のために何をする?

「**取組指標**」=誰が、どのくらいの頻度で、
どこまで、どのようにする?

「**取組状況の分析・検証**」
=手段の実行度。どのくらいできた?
できなかった?それはなぜ?

「**今後の取組**」=何をどのくらいする?

新AP様式では、「目的」に関するものが3箇所あります。上記の赤字で示してある項目です。「本年度の重点目標」では、どのような児童生徒を目指すのかを学校教育目標や学習指導要領の育成すべき「資質・能力」を踏まえて記述します。「達成指標」では、児童生徒がどのような姿になれば目標を達成したといえるのかをできる限り数値化できる形で設定します。

また、「手段」に関するものが4箇所あります。「重点取組」では、達成指標の実現に向けた教職員の取組(手立て)を記入します。「取組指標」では、誰が、何をどれくらいの頻度で、どのように行うのかを教職員の行動指標として記入します。

AP様式では、「目的」に関わる枠を赤系統の色で、「手段」に関わる枠を青系統の色で示しています。「目的」と「手段」を明確にすることを意識してAPの作成をよろしくお願いいたします。

